

4 歳児 林の組・池の組

保育研究シート

2023年2月10日（金）

（担任）杉浦真紀子・谷地理沙・伊川千晶

1. 子どもたちの姿

年中組に進級した頃から、園庭のドロケイが子どもたちの投げ所の一つになった。2学期には年長児と一緒に氷鬼も楽しむようになり、3学期の今も、朝から元気に走り回る子どもたちの姿が見られる。室内では、年長児の姿に刺激をもらい、作ってみたい気持ちが膨らんでいる。これまでは、作ると家に持ち帰ることが多かったが、少しずつ、作品を通して友達同士がつながったり、やりとりを楽しんだりする姿も見られるようになってきている。弁当時、クラスでくじを引き、2クラス混合で林の組・池の組・遊戯室の3カ所で食べる経験を重ねている。新たな出会いの場となり、互いのクラスの友達を知るきっかけにもなっている。友達に関心が高まり、関わりが広がってきている今、相手の思いに気づき、気持ちを感じられるようにと願い、関わっている。

2. 子どもへの願い（かかわりの視点から）

*自分とのかかわり ～寒い中でも思い切り身体を動かして遊び、気持ちよさや充実感を味わう～

寒い日でも、思い切り動いたり走ったりすることで、心地よく過ごせることを感じてほしい。また、寒い時の過ごし方として、上着を着る、濡れたら着替える、かじかんだ手を温めるなど、自ら気づいて行ってほしい。

*人とかかわり ～友達と関わる中で、自分の気持ちを素直に表現したり、相手の思いに気づいたりする～

友達に対して、自分の思いを素直に出せるようになる中で、すれ違いも増えている。教師や友達に支えられながら、相手の思いにもはっと気づき、気持ちを感じる経験を重ねてほしい。

*もの・こととかかわり ～ものを丁寧に扱ったり、場を整えたりして、みんなで気持ちよく生活する～

年長児に憧れ、新たな素材や道具を使ってみることが増えているので、引き続き、使い方を確認し、大切に扱えるようにしていきたい。片付けや身の回りのことなどが雑になりがちなので、みんなで過ごす場を丁寧に片づける気持ちももてるように、また、身の回りを整える心地よさを感じて自ら行えるようになってほしい。

3. 本日の流れ

時間	幼児の活動	留意点・手だて
9:00 ～9:10	登園 挨拶・手洗い 好きな遊びをする ままごと・電車・積み木 描画・製作・ごっこ遊び (お店屋さんごっこなど) 砂場・固定遊具・ドロケイ・ 氷鬼・サッカー・ダンスなど	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの様子を受けとめ、身支度や手洗いを促す。 保護者と離れがたいような時には、教師が玄関まで迎えに行く。 前日から続いている遊びや、好きな遊びに自ら取り組めるように環境を整え、援助する。 ドロケイや氷鬼が投げ所となり、思い切り身体を動かして遊べるよう、教師も一緒に楽しむ。 ごっこ遊びでは、友達同士でイメージを共有して楽しめるよう、ものを用意したり、場を作ったりできるよう援助する。 友達と関わる中で、思いがすれ違う時には、それぞれの主張を受けとめながら、相手の思いにも気づけるようにする。 製作等では、作りたいものに必要な素材や道具を一緒に考え、イメージを形にできるように支える。また、ものを大切に扱えるように、適宜声をかけていく。 遊びが見つからない、遊ぶことを躊躇しているような時には、動き出せるよう背中を押したり、場を用意したりして支える。 他学年との自然な関わりを大切にし、4歳児なりに挑戦したり、やりとりしたりできるように援助する。
10:40	片付け トイレ・手洗い・水を飲む 帰る支度 ※外靴持ち帰り	<ul style="list-style-type: none"> まだ遊びたい気持ちを受けとめ、翌週につながるよう支える。 片付けはみんなで行うよう促し、ものの扱い等丁寧に進める。 身支度を整え、一人ひとりが帰る気持ちに向かえるようにする。
11:05	集まり 手遊び・絵本など	<ul style="list-style-type: none"> 集まりでは、子どもたちが楽しいひと時を共有し、みんなとのつながりが感じられるようにする。
11:15	降園	<ul style="list-style-type: none"> 玄関まで、落ち着いて並んで歩き、保護者に無事に引き渡せるようにする。

<最近の遊びマップ>

<お山>

基地作り

ログハウス・お山の斜面などのお気に入りの場所に道具を運び、自分たちの場を作っている。

ごびすべり

いろいろな人と混ざりあい、もみくちせになって角虫あいを楽しめる場になっている。段ボールを使ってみるなど、様々に試す姿が見られる。

<お庭>

こおりオニ・ドロケイ

1学期から子どもたちのやり所として系統しており、考案者明ど連携して支えつた。緩やかな雰囲気の中でも、年長児と混ざりあう中で、だんたんルールを楽しむようになり、いろいろな人が加わるようになってきた。

<廊下>

電車

1学期から系統している牛乳パックの電車作りに、装飾が加えられるようになってきた。木製電車、つみ木・パンチなどを使って、工夫して場を作り、電車を走らせている。

石の場

3学期からやや大きいシャベルを使い始めた。山やりを作り、ダイナミックに遊ぶようになってきた。

たつき・テラス

ボウル、泡盛器などの道具を気に入り、色水作りや砂のごはん作りをじっくり楽しんでいる。ふるいを使って、ふわふわの砂を作る姿も見られる。

ごっこ遊び

食パン物やせん、重カ物園など、イメージを持った人が始める。近くで遊ぶ人と繋がったり、以前作ったものを取り入れたりして、遊びが膨らむこともある。

<保健室>

けがをした時だけでなく、ゆっくり過ごしたい時などにも子どもたちが選んで言われている。

<遊戯室>

年長児が遊び始めると、気が付いて入って行く。ワッフルブロック、フーフーフなど、扱いかたを年長児から教わりながら、遊んでみている。また、すもうに加わって身体を動かす姿も見られる。

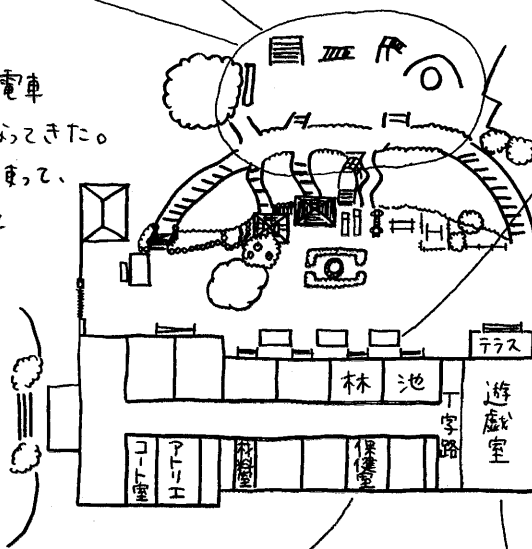
<保育室>

ままごと

役になってやりとりを楽しんでいる。保育室内が混んでいる時には、廊下やT字路、コート室を選んで場を作ることもある。

描画・製作

写し紙などを使ってじっくりと描く。製作は、教師とやり方を考えながら形にすることを楽しんでおり、少しづつ年長児の扱いかたや素材や道具も取り入れられている。



前週の子どもの姿から

自分とのかかわり

- 寒さが一段と厳しくなる中、朝一で園庭に出かけ、ドロケイや氷鬼、固定遊具などで身体を動かして遊び始める人が多かった。長縄とびでは、新しい技や、より多く跳ぶことに挑戦する姿も見られた。
- 自分の好きなことや、やりたいことを見つけて取り組む姿も多くなってきた。自分なりに遊びに取り組み中で、友達と出合い、関わりが広がる様子が見られるので、そこでのつながりを大切に育んでいきたい。
- 年長児の姿に刺激を受け、一緒に遊んでももらったり、同じようにやってみたりする姿が見られるが、同じようにはできないものもかしくも感じている。
- 週4回弁当のリズムに慣れ、午後に気持ちは切り替えて遊び出す姿が増えてきたが、降園前や週末にかけては疲れる姿も見られた。安心して保護者の元に帰れるよう、ゆとりをもって身の回りを整え、降園前には心地よいひと時を共有することも大切にしていきたい。

人とのかかわり

- ドロケイや砂場、三和土でのままごとなど、賑やかな場に様々な人が集まってきた遊び始める姿が見られている。また、個々の遊びがだんだんとつながっていき光量も増えてきた。イメージを共有し、やりとりを楽しみながら遊ぶ姿を支えていきたい。
- 遊びや場でのつながり、関わりを広げる人もいれば、いつものメンバーで遊び出す人もいて、一緒に居ることが嬉しい反面、ぶつかり合うことも多いので、お互いの思いを感じつつ、気持ち切り替わるような声掛けや場づくり等を心がけてきた。相手の思いにも気づけるよう、根気強い関わりが必要である。
- 自分の気持ちは言葉で表すようになる一方で、相手を傷つけてしまったり様子も見られた。双方の心持ちに触れながら、お互いに表し方を考えられるように関わっていききたい。

もの・こととのかかわり

- 筋分の日、年長児が鬼役となり、園全体で豆まきが行われた。その後、自ら鬼のお面を作った、年少保育室に出向く姿が見られた。降園前の集まりでは、自分の心の中の鬼について話題にするなど、泣き虫鬼、けんか鬼、忘れんぼ鬼などがあがり、みんなで語り合い合う時間となった。
- 製作等で、年長児が使っている素材や道具等を取り入れて遊ぶことが増えている。使ってみてみたい気持ちを認めつつ、扱い方や大事に使っていくことを伝えていく。
- 2クラス混合のくじ弁当にも少しずつ慣れてきた。馴染みのない人との出合いに戸惑う姿も見られるが、相手のことを知る機会にもなっている。

***週のねらい**

- 思い切り身体を動かして遊び、気持ちよさや充実感を味わう。
- 友達と関わる中で、自分の気持ちを素直に表現したり、相手の思いに気づいたりする。
- ものを丁寧に扱ったり、場を整えたりして、みんなで気持ちよく生活する。

環境の構成・教師のかかわり

◎思い切り身体を動かして遊び、気持ちよさや充実感を味わえるように

- 寒さで身体がかたくなったり、手がかたくなりやすくなるので、動きや遊具の扱いに留意し、安全に配慮する。
- 冬の自然への気づきや驚きなどを共感的に受け止め、一人ひとりの気づきや関わりへと伝わっていくことを大切にします。
- ドロケイ・氷鬼など…思い切り身体を動かして、ルールを共有しながら友達と関わる楽しさを味わえるよう、教師も一緒に身体を動かして、楽しさや心地よさを共有する。
- 砂場…大きな山、川など、友達と一緒に作ることを楽しみ、作り上げる達成感を味わえるようにする。

◎友達と関わる中で、自分の気持ちを素直に表現したり、相手の思いに気づいたりできるように

- 場やものを共有することで、一人ひとりのアイデアや工夫が認められ、互いに伝え合ったり遊びに取り入れたいようにして楽しめるようにする。
- 友達とのやりとりを通して、自分とは違う友達の感じ方や考え方に触れ、関わる面白さを味わえるようにする。
- 一人ひとりの思いの表現を大事に受け止めつつ、相手の気持ちにならなったり、遊びや場がなったり、友達が関わりたがりできるように支えていく。
- *ごっこ遊び…やりとりを通してイメージを共有したり、遊びや場がなったり、友達が関わりたがりできるように支えていく。
- *牛乳パック電車…電車を新たに作ったり、工夫して作ったりする姿を受けとめ、そこからつながりが生まれるよう支える。

廊下の動線に配慮しつつ、椅子や積み木等を使って場を工夫していかれるよう援助する。

◎ものを丁寧に扱ったり、場を整えたりして、みんなが気持ちよく生活できるように

- 新しいものや魅力的なもの、新たな関わりや動きが生まれ、遊びの広がりや深まりへとつながるよう工夫する。
- 使ったものを元に戻したり、遊びや生活の場をきれいにしたりなど、みんなが気持ちよく生活できる工夫を子どもたちと一緒に考えていく。
- *製作…一人ひとりの作りたてのイメージに合わせて、素材の選び方や使い方を一緒に考え、丁寧に作り上げられるように、またその満足感が自信につながるように援助する。
- *コマ…コマに興味をもった人が集まれるような場や雰囲気を作る。まだ挑戦してない人もやってみようという気持ちで動いたり、一緒に挑戦したり励ましたりする。
- *カプラー・マグネットモザイク…組み合わせる面白さを味わうとともに、友達との作品に刺激を受けたり、一緒に作ったりなど、関わりが生まれるように支える。
- *弁当時は、食べる場所の見通しを伝え、安心して食べられるように配慮する。また、手洗い、食事中の大声を控える等々を促し、感染防止に十分に留意する。
- *片付けでは、みんなが生活する場をきれいにする気持ちがあがるよう、一人ひとりの取り組みを認め励ますとともに、時間にゆとりをもって取り組めるよう配慮する。
- *集まりでは、絵本や紙芝居を見たり、子どもたちの話題を共有したりして、みんなが過ごす楽しさやつながりを感じられるようにする。

6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)
9:00~9:10 登園 身支度・手洗い・水分補給 自分の選んだ遊びに取り組み	9:00~9:10 登園 身支度・手洗い・水分補給 自分の選んだ遊びに取り組み	9:00~9:10 登園 身支度・手洗い・水分補給 自分の選んだ遊びに取り組み	9:00~9:10 登園 身支度・手洗い・水分補給 自分の選んだ遊びに取り組み	<公開保育研究会> 9:00~9:10 登園 身支度・手洗い・水分補給 自分の選んだ遊びに取り組み
園庭：砂場、固定遊具、ドロケイ・米鬼、サッカード、かくれんぼなど 保育室：廊下、積木、製作、ままごと、お部屋さん、コマ、カプラーなど	10:45 片付け トイレ・手洗い・弁当準備 11:20 弁当	10:40 片付け トイレ・手洗い・弁当準備 集まり	10:45 片付け トイレ・手洗い・弁当準備 11:20 弁当	10:40 片付け トイレ・手洗い・身支度・水分補給 集まり
選んだ遊び	選んだ遊び	選んだ遊び	選んだ遊び	11:15 降園
12:40 片付け トイレ・手洗い・身支度・水分補給 集まり	12:40 片付け トイレ・手洗い・身支度・水分補給 集まり	12:40 片付け トイレ・手洗い・身支度・水分補給 集まり	12:40 片付け トイレ・手洗い・身支度・水分補給 集まり	12:40 片付け トイレ・手洗い・身支度・水分補給 集まり
13:15 降園	13:15 降園	13:15 降園	13:15 降園	13:15 降園
川崎先生 Zoom 打ち合わせ 16:00~ 保育手帖印刷出し	つばき委員会決定のお知らせ 園内研	つばき委員会決定のお知らせ 園内研	公開保育前日準備	保育手帖印刷直し

絵本・紙芝居：冬に関するもの・おもしろいぼうけん・いやいやえんなど
手遊び・ゲーム：ゆげのあさ・すうしのうた・もちつきべったんこ・ブルー・バスケットなど